

福岡よか未来プロジェクト 令和4年度採択



福岡未来創造 プラットフォーム

「 “樋井川村”の市民普請 」 ～できるんだからやっちゃおう地域で小さな公共事業～ プロジェクト活動報告

地域の課題の解決は
行政の力を借りて行うことがしばしばあります。
しかし、「行政頼み」から
「行政任せ」になっていないでしょうか・・・

地域で、できることはあるはずで
地域で、できる仕組みもあるんです。
例えば河川に関しては・・・

- ・河川自由使用の原則
- ・河川管理者以外の河川工事（河川法第20条）
- ・河川協力団体制度（河川法第58条）
- ・河川空間利用のオープン化
（河川敷地占用許可準則の緩和）

役所の怠慢と嘆く前に
自分たちでできることを考えよう！

予算がないので
できません。

しっかり
やれー！！



時々ある好ましくない市民と行政の関係

市民普請とは・・・

『市民が主導的な役割を果たしながら、地域を豊かにするために実践する公共のための取り組み』それが“市民普請”です。まちづくり、みちづくり、川や湿地・里山・里海の再生等、地域の防災計画の立案等、市民普請の対象は多岐にわたります。（土木学会）



学区や行政区にとらわれない
魅力的なまちづくりがあるはず！
かつての「樋井川村」や「流域」
という空間のとらえ方で地域活性
化が行えないだろうか？

株式会社樋井川村
村長：吉浦 隆紀



樋井川流域サミット（2020～）



樋井川ビーチ：草刈だけでみんなが使える
オープンスペース（生物多様性にも○）



旧油山青年の家：
民有地を生かした地域づくり

樋井川ビーチは365日24時間オープンしています（無料）



定期的にイベントを開催して、「身近な川でも遊んでいいんだよ」をPR
2022年7月には「樋井川スーパー水遊び」を開催！

プロジェクト名：“樋井川村”の市民普請～できるんだからやっちょう地域で小さな公共事業～

私たちの作り出した空間は、地域の日常となりました。



※事業のメンバーではない
地域の人たちなので遠くからの写真に
なっています。

こんな身近な空間を自分たちで作っていきましょう。

ご清聴ありがとうございました



福岡未来創造プラットフォーム